

Akashi College		Year	2022		Course Title	German
Course Information						
Course Code		4407		Course Category	General / Elective	
Class Format		Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department		Architecture		Student Grade	4th	
Term		Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials		DVDわかるぞドイツ語！見えるぞドイツ語！ WEB改訂版 春日正男、松澤淳（朝日出版社）				
Instructor		YOKOTA Kazuya				
Course Objectives						
・ドイツ語の文構造や、規則を確実に把握し、辞書を用いれば、中級程度のドイツ語を読みこなすことができるようになることを目標とします。 ・対話形式の練習で身につけたことを生かし、自分の身の回りの事柄を、簡単なドイツ語で表現できるようになることを目標とします。 ・ドイツの社会事情に関する読み物を読むことにより、ドイツ人のものの考え方や、生活習慣などについての理解を深めることを目標とします。						
Rubric						
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1		ドイツ語の文構造や、規則を確実に把握し、辞書を用いれば、中級程度のドイツ語を読みこなすことができる。		ドイツ語の文構造や、規則を確実に把握し、辞書を用いれば、中級程度のドイツ語を読みこなすことができる程度できる。		ドイツ語の文構造や、規則を確実に把握できず、辞書を用いても、中級程度のドイツ語を読みこなすことができない。
評価項目2		対話形式の練習で身につけたことを生かし、自分の身の回りの事柄を、ドイツ語で表現できる。		身につけたことを生かし、自分の身の回りの事柄を、簡単なドイツ語で表現できる。		自分の身の回りの事柄を、簡単なドイツ語で表現できない。
評価項目3		ドイツの社会事情に関する読み物を読むことにより、ドイツ人のものの考え方や、生活習慣などについての理解を深めることができる。		ドイツの社会事情に関する読み物を読むことにより、ドイツ人のものの考え方や、生活習慣などについての理解を深めることができる程度できる。		ドイツの社会事情に関する読み物を読むことにより、ドイツ人のものの考え方や、生活習慣などについての理解を深めることができない。
Assigned Department Objectives						
Teaching Method						
Outline		この授業では、ドイツ語の基礎文法を学び、ドイツ語の読む、書く、聞く、話すといった総合的な力を、バランスよく身につけることを主な目的とします。文法事項を学ぶ際には、実用的な、生きたドイツ語が身につくように、それぞれの課で学ぶ文法事項を用いた、対話形式の練習を多く取り入れていきます。また、ドイツの社会事情について書かれた読み物を読みながら、ドイツ語の読解力を向上させ、ドイツという国についての知識も豊富になるようにしていきます。				
Style		講義に加え、対話形式の練習を多く取り入れることと、講読を通して読解力を向上させます。 連絡員：穂本浩美				
Notice		（１）最初の授業の時に、いくつか辞書を紹介するので、その中から、自分が使いやすいと思う辞書を買って、必ず毎回授業に持ってくる。 （２）与えられた課題にはしっかり取り組むこと。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/4以上の欠課				
Characteristics of Class / Division in Learning						
☐ Active Learning		☐ Aided by ICT		☒ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced
Course Plan						
			Theme	Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	ドイツ語とドイツについての紹介	アルファベットと発音規則について理解できる。		
		2nd	ドイツ語とドイツについての紹介	発音規則とあいさつ表現について理解できる。		
		3rd	Lektion1	文法・動詞の現在人称変化について理解できる。		
		4th	Lektion1	文法・ドイツ語の語順について理解できる。		
		5th	Lektion1	読み物・ドイツの中の日本について理解できる。		
		6th	Lektion1	文法・seinとhabenについて理解できる。		
		7th	Lektion2	文法・名詞の性と数について理解できる。		
		8th	Lektion2	読み物・ドイツのビールとワインについて理解できる。		
	2nd Quarter	9th	Lektion2	文法・冠詞と名詞の格変化について理解できる。		
		10th	Lektion3	読み物・ベルリンについて理解できる。		
		11th	Lektion3	文法・不規則変化動詞と命令形について理解できる。		
		12th	Lektion4	読み物・ヨーロッパとEUについて理解できる。		
		13th	Lektion4	文法・定冠詞類と不定冠詞類について理解できる。		
		14th	Lektion5	読み物・ドイツの若者のアルバイトについて理解できる。		
		15th	復習	前期で行ってきたことの復習		
		16th	期末試験	これまで学習した事柄を理解できる。		
2nd Semester	3rd Quarter	1st	Lektion5	文法・人称代名詞について理解できる。		
		2nd	Lektion5	文法・前置詞について理解できる。		
		3rd	Lektion6	読み物・ドイツのパン屋について理解できる。		
		4th	Lektion6	文法・話法の助動詞と未来形について理解できる。		

		5th	Lektion6	文法・従属の接続詞について理解できる。
		6th	Lektion7	読み物・ドイツの旅事情について理解できる。
		7th	Lektion7	文法・分離動詞について理解できる。
		8th	Lektion7	文法・再帰動詞について理解できる。
	4th Quarter	9th	Lektion8	読み物・ミュンヘンについて理解できる。
		10th	Lektion8	文法・形容詞の格変化について理解できる。
		11th	Lektion9	読み物・ミュンヘンのオクトーバーフェストについて理解できる。
		12th	Lektion9	文法・動詞の三基本形と過去形について理解できる。
		13th	Lektion10	読み物・ドイツのサッカー事情について理解できる。
		14th	Lektion10	文法・完了形について理解できる。
		15th	復習	後期で行ってきたことの復習
		16th	期末試験	これまで学習した事柄を理解できる。

Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	小テスト	Total
Subtotal	50	0	0	30	0	20	100
基礎的能力	50	0	0	30	0	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0